

「交流及び共同学習」 地域の中で共に生きる姿を願って・・・

お子様は居住地域の同世代の子どもたちとのかかわりがありますか？

☐ ない
 ☐ ほとんどない
 ☐ あまりない
 ☐ 少しある
 ☐ まあまあある
 ☐ 十分ある

H28 年度地域とともにある学校づくりアンケート（保護者）より

誰もが相互に人格と個性を尊重し合える共生社会の実現のためには、障がいのある人と障がいのない人がお互いに理解し合うことが大切です。相互の触れ合いを通じて豊かな人間性を育むことを目的とする「交流」の側面と、各教科等のねらいの達成を目的とする「共同学習」の両者の側面を一体として捉え、本校でも各学部において、交流及び共同学習を教育活動に位置付け推進しています。しかし、アンケートの結果を見ると、居住地域における同世代の子どもたちとのかかわりは、まだまだ十分でないことが明らかです。障がいのない子どもたちにとっても、交流及び共同学習は地域社会の様々な人々と共に助け合い支え合って生きていくことを学ぶ機会となり、大きな意義があります。裏面の校長室だよりでも紹介されている本校の運動会ボランティアに3年連続来てくれた高校生や「お友達が出るからお父さんに言って応援に来ました！」と笑顔で小学部の応援に駆けつけてくれた本町小学校の4年生のKさんのような心を育むことが、共生社会の基盤になるのではないかと感じます。今回は、各学部の学校間交流について紹介します。

小学部：本町小学校



今年度で34年目。本町地区の親から子へ世代を越えた心の交流として根づいています。

中学部：本渡中学校



ゲーム等を通して、特別支援学級の生徒と年に2回交流しています。

高等部：天草拓心高校



園芸作業やお菓子作り、みかんの選果作業など共に学習しています。

本町地区振興会「合同研修会」

5月13日(土)に本町地区コミュニティセンターにおいて、本町地区振興会「合同研修会」が行われ、講話『天草支援学校の概要とコミュニティ・スクール』をしました。本校の子どもたちの学習の様子や、コミュニティ・スクールの取組について、熱心に聴いてくださり、参加された方々から多くの感想や温かい励ましの言葉をいただきました。その一部を紹介します。

- ・支援学校の授業の様子や先生方の活動の取組等、よく分かった。
- ・私たちにできることがあったら協力していきたいと思った。
- ・一人一人個性がありますが、成長しながら他の人と協力したり、一緒に行動できる人になってほしい。
- ・地域行事にどんどん参加してください。
- ・自然豊かな本町の中で大きく育ててほしい。 ・将来、地域の力となる大人となってほしい。
- ・小学校や中学校にももっと公開してアピールしてください。



6月の主な予定

1日(木)高等部オープンスクール	8日(木)中学部オープンスクール	15日・19日給食試食会(小・中)
眼科検診	9日(金)小学部オープンスクール	16日日本町小交流(小)
5日(月)全校集会	12日(月)～23日(金)高等部現場実習	28日(水)授業参観
6日(火)大雨土砂災害避難訓練	14日(水)本渡中学校との交流(中)	29日(木)苓北支援学校との交流(中)